

浜松湖北高校生が地元企業の取材をしました！



ピアノ椅子製造の作業工程を見学する生徒ら＝浜松市西区

浜松湖北高

地元企業取材、魅力探る

従業員の調和など学ぶ

浜松市北区の浜松湖北高商業科の3年生が23日、市内の企業を訪問し、仕事内容を学び魅力を掘り起こすための取材活動を行った。総合エネルギー会社「エネジン」（同市中区）と協力した取り組みの一環。

同市西区のピアノ椅子製造「名陽木工」を訪問した5人は、同社の橋口直広執行役員（47）から説明を受けながら工場内を回り、削りや組み立て、塗装など一連の作業工程を見学した。生徒は「仕事のやりがい」は「大変

「名陽木工」を訪問した5人は、同社の橋口直広執行役員（47）から説明を受けながら工場内を回り、削りや組み立て、塗装など一連の作業工程を見学した。生徒は「仕事のやりがい」は「大変

が仲良くすることを意識している」と話した。長谷恵言さん（18）は「会社について知ることができ、勉強になった。取材を通し、魅力ある企業が地元にも多くあることを実感した」と話した。（細江支局・吉沢光隆）

エネジン(株)の社員が講師をしている授業の一貫で、浜松湖北高校の生徒が地元の企業取材しました。高校生が企業と直接話をする場があることで、やりたいことを見つけるきっかけになると同時に、地元の企業の魅力を地元の人たちに知ってもらい地域活性化に繋げることが出来る取り組みです。随時更新される高校生の取材記事を載せたブログやチラシをぜひご覧ください！

令和2年(2020年)9月25日(金)

静岡新聞掲載